



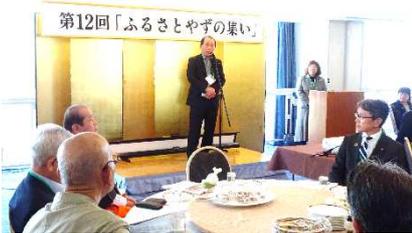
# 八頭町関西事務所だより

令和6年秋号

ふるさとへの想いを寄せて 第12回ふるさとやずの集い 盛大に開催



お祝いムードの中、笑顔の参加者のみなさん 2024.10.5 @大阪キャッスルホテル



主催者を代表して白岩会長がご挨拶



桂慶枝さんの参加型大喜利で盛り上げます



輪になって八頭町音頭!

関西八頭町会が発足して15年を迎えた記念の年。「第12回ふるさとやずの集い」が10月5日(土)大阪キャッスルホテルで開催されました。この集いは八頭町と関西の交流の場として、重要な役目を果たしており、今回も会員をはじめ、関西圏でご活躍の町関係者ら約70名が参加集いに先だって、八頭町観光大使 桂三風さんの「五代目桂慶枝」襲名、地元選出の石破茂さんの内閣総理大臣就任と、かつてないお祝いムードの中で会が始まります。

まずは白岩会長がふるさとへの熱い想いを込め挨拶。また、石破総理からのお祝いメッセージの披露があると万雷の拍手がおこりました。会場では、日本国際博覧会協会の河谷秀子さんから、開幕まで半年を切った関西万博の紹介をはじめ、(株)北岡本店による「カクテルバー」の提供、桂慶枝さんプレゼンツのテーブル対抗「大喜利」で交流を深めました。最後に「八頭町PR隊」による八頭町音頭が披露されると、参加者全員が踊りの輪に加わり、このたびも大団円で幕を閉じました。

八頭町CATV公開収録として昨年実施し好評だった「三風・一海ふたり会」が9月7日(土)中之島フエスティバルタワーで開催されました。

9月末に「五代目桂慶枝」襲名を迎えた三風さんは、今夏に家族で八頭町を訪問。その時に遭遇したおもしろ体験を披露。また、八頭高出身の旭堂一海さんは、母校のゲスト講師として招かれた際のエピソードなど、ふたりの絶妙の掛け合いで会場を沸かせます。

各々の落語・講話を堪能するのはもちろん、夜の開催ということでも中之島の夜景も楽しみ大満足!このたびも八頭町を大いにPRする機会となりました。



八頭町CATV公開収録寄席  
三風・一海ふたり会

発行元  
八頭町関西事務所

〒530-0001  
大阪市北区梅田1-1-3-2200  
大阪駅前第3ビル22階  
鳥取県関西本部内

【お問い合わせ】  
八頭町関西事務所 山中  
電話  
090-1688-0308  
Fax  
06-6341-3972  
Mail  
kansai-yazu@opal.ocn.ne.jp

# 第50回すみよし区民まつり 完売御礼!

西条柿・りんご・八頭ブランド米「神兔」を積み込み、10月26日(土)未明に八頭町を出発。すみよし区民まつり会場の沢之町運動場へと急ぎ、そこで待つ、お手伝いに駆け付けた住吉ブランドの皆さん。また、まつり開始前から八頭町ブースに連なる長蛇の列は、毎年お馴染みの光景となりました。

しかし、スタッフの戦いはここからです！商品の箱開け、袋詰め、試食用の柿やりんごの皮むき、品出しにお会計、お客様への呼び掛けにと奔走します。

そして…  
西条柿はもちろん、りんごもお米も飛ぶように売れていき、今年は販売からわずか1時間半で、持ち込んだ全ての商品が完売となりました。第50回を迎えた住吉区民まつり。住吉ブランドと八頭との交流も30年と、長く深い絆があります。このたびも本当にお疲れさまでした、ありがとうございます！  
来年もたくさん柿を持って行きます。住吉区の皆様、また八頭町ブースでお会いしましょう！



開会前から八頭町ブースは長蛇の列  
住吉ではお馴染みの光景です



## 関西イベント情報

### 長田区まちな文化祭

日時 11月24日(日)10時～16時  
場所 神戸市長田区ふたば学舎  
内容 八頭町特産品の販売

### 天神橋商店街農産物フェア

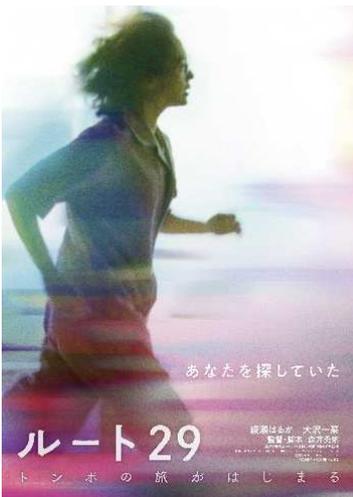
日時 12月3日(火)9時30分～17時  
12月4日(水)9時30分～13時  
場所 天神橋筋二丁目商店街  
内容 花御所柿・主秋等八頭町の特産品の販売

※第12回ふるさとやすの集い「パンフ掲載情報と開催日時変更となっていますのでご注意ください」

## 映画「ルート29」

11月8日全国公開

女優の綾瀬はるかさん主演の映画「ルート29」をご存知ですか？原作は若桜町出身の中尾太一さんの詩集です。姫路と鳥取を結ぶ国道29号を進むロードムービー。私達の見慣れた風景がスクリーンに映し出されるかもしれませんね。ぜひ劇場でご覧ください！



## 八頭町会員短信 Vol. ④

### 八頭町を出て30有余年…

先日、大阪市内で開催された「ふるさとやすの集い」に参加しました。八頭町出身の石破茂代議士が内閣総理大臣になった直後とあって、会は大いに盛り上がりました。  
大学進学を機に関西(まずは京都)へ。地元で暮らした日々の倍の時間を関西で過ごしております。



ふるさとやすの集い (2023年)にて  
石破代議士(現総理大臣)と  
光浪 泰之さん (旧郡家町)

関西は「お笑い」のイメージが強く、誰かれなく話しかけて仲良くできるイメージですが、生まれてから関西を出て生活したことがない人がほとんどです。最近でこそ「石破さん、良かったやん」と声をかけてくれますが「鳥取?田舎やん、砂丘やろ、カニやろ、あ、梨な」みたいな、ちょっとマウントを取りたい人が少なくない(笑)皆さんもそういう経験があまりではないでしょうか。

東京でも暮らしましたが、東京は逆に少数の生粋の江戸っ子以外は全員が田舎モン。北海道、東北、四国に九州・沖縄、そして関西出身の人間もいて故郷を持っている人が大多数。東京の人の顔を観察すると、同じ日本人でも鳥取や関西で見かける人相よりバラエティに富んでいます。東京の方が敷居が低く暮らしやすかった印象です。

現在、西宮市で暮らしております。近くに関西学院大学があります。高校3年の夏にキャンパスを見学に行きましたが、時計台や「学園花通り」が凄く印象に残り「この大学に入って、将来、この辺に住みたいなあ」と思った記憶があります。結局、大学にはご縁がありませんでした(合格はしました)が、憧れの地に住まうことは叶いました。

一時は足が遠のいていましたが、近年は仕事や実家へと鳥取に帰省する機会が増えてきました。鳥取に帰れば、幼馴染で県議の福田俊史先生がいろいろと宴席を設けてくれて旧交を温めたり、新しい出会いの場を作ってくれます。「次はいつ鳥取にかえろうかなあ」と思う今日この頃です。